

グラスルーツからの日米関係強化に関する
政府タスクフォース（各地各様のアプローチ）
フォローアップ会合 議事要旨

1. 開催日時 : 平成29年12月8日（金）16時40分～17時10分
2. 開催場所 : 官邸3階南会議室
3. 概要

（1）本会合では、本年7月の第3回会合において取りまとめられた「行動計画」を踏まえて実施された具体的な取組について報告が行われ、その後、出席者の間で、各々の省庁・機関の取組の強化に向けた方策について議論が行われた。

（2）最後に、西村康稔内閣官房副長官より、以下の発言があった。

「フォローアップ会合では、本年7月の第3回会合で公表した「行動計画」を踏まえた米国各地における具体的な取組について報告を受け、議論いたしました。

紹介された各取組は、このタスクフォースにおいて議論されたように、地域の特徴に応じた「テイラー・メイド」のアプローチをとりつつ、さらに、訴求対象の日本への関心度等に応じたきめ細かなアプローチをとるものとなっているものと評価しています。

グラスルーツにおける取組が、我が国と米国との絆を深めるに当たって非常に有効なツールであるということは、論をまちません。官邸としても、このタスクフォースを一過性のものとすべきではなく、随時報告を求めつつ、継続的に行うべきとの思いを新たにしました。

このタスクフォースの取組や議論については、私から安倍総理にもしっかり報告したいと考えています。

政府としては、これらの取組を更に力強く推し進めるべく、しっかりとした予算と体制を確保し、各省庁・機関が、来年度以降も重層的な取組を展開することを期待します。」